

デイサービスセンターりゅうぐう
令和 6 年度第 1 回 運営推進会議 資料・報告

【出席者】 利用者代表 1 名 利用者家族 1 名

地域住民の代表 2 名…1 名欠席

知見を有するもの 1 名…事業所を利用する方の担当ケアマネ

市役所 1 名 事業所 3 名

【議題】 1. 運営状況について

- ① ご利用者の状況
- ② 活動状況
- 2. 感染症・災害対策報告
 - ① 新型コロナについて
 - ② 南海トラフ地震臨時情報について
- 3. 事故内容、対応
- 4. 次回開催について

【報告内容】

1. 運営状況について

① ご利用者の状況（総合事業含む）

現在、14名の方（男性4名、女性10名）が利用されている。（令和6年9月1日現在）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
60歳代	0	0	0	0	0	0	0	0
70歳代	0	0	0	2	0	0	0	2
80歳代	1	0	0	2	1	0	0	4
90歳代	0	1	2	2	1	1	1	8
合計	1	1	2	6	2	1	1	14

② 活動の状況

☆各営業日のご利用者は以下のとおり。（定員10名）（令和6年9月1日現在）

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
7	8	9	8	8	9

☆日々の日課…日課の流れは、前回報告と変わりありません。

時間	日課	内容
9時30分	来所開始 健康チェック	来所時、手洗い消毒後入館 順次、健康チェック（体温、血圧）
10時	体操	全員で行える体操、並行して、入浴を実施。（1営

	入浴	業日、5~6 人入浴)
10 時 30 分	休憩	水分補給、トイレ誘導等
10 時 45 分	レクリエーション 機能訓練	しりとり、ゲーム等 理学療法士、歯科衛生士の勤務日は個別で訓練
11 時 30 分	トイレ誘導 口腔体操	昼食の準備 トイレ誘導と口腔体操を実施
11 時 45 分	昼食 口腔ケア	昼食後、しばらく休憩 順次、口腔ケアを実施
13 時 00 分	レクリエーション 機能訓練 入浴	創作、ゲーム、カラオケ。行事の時もあり。 理学療法士が勤務日は個別の訓練
15 時	おやつ	おやつ前後にトイレ誘導
15 時 20 分	送迎開始	順次送迎、帰宅。

☆行事

令和 6 年 4 月	誕生日会 (18 日)、島内花見 (5 日、6 日)
5 月	誕生日会 (10 日)、お楽しみおやつ＜たこ焼き＞ (21 日)
6 月	誕生日会 (13 日)、お楽しみおやつ＜たい焼き＞ (27 日)
7 月	誕生日会 (31 日)、流しそうめん (27 日)
8 月	誕生日会 (8 日)、流しそうめん (21 日)
9 月	敬老の日おまんじゅう配付 (16 日予定) お彼岸の墓参り (19 日～25 日天気の良い日に予定)

☆防災関係

令和 6 年 5 月 16 日…避難訓練 (大地震による津波想定) →お寺へ避難
事業所内点検

【議題 1 についての意見交換、質問、情報共有等】

- ・事業所より：(資料を元に日課等説明。) 体操は「自分のため」と一生懸命に取り組んでいただいている。夏場は軽めに実施している。トイレ誘導は時間で行うが、随時、その方に合わせて行っている。昼食後は横になる方、マッサージチェアに座る方、思い思いに休憩されている。午後からのレクは、塗り絵やパズルといった個人でできることから始め、14 時ごろから脳トレやゲーム等みんなでできることを行っている。理学療法士が勤務する日はその日の利用者全員、個別対応で訓練を実施している。
- ・利用者より：ここに来るのが楽しみ。自分で何もできないのでどれも良い。

2. 感染症・災害対策について

① 新型コロナについて

- ・令和 6 年 4 月以降、ご利用者の感染事例なし（職員 1 名感染事例、感染拡大はなし）
- ・感染対策については、これまでの取り組みを継続（ご利用者、職員共に来所、出勤時の手洗い消毒、検温、マスク着用、館内の消毒）

② 南海トラフ地震臨時情報発表時について

- ・職員間で情報共有…市役所からのメール内容の共有
- ・休業やサービス利用時間の短縮は行わず、通常営業

【議題 2 についての意見交換、質問、情報共有等】

- ・事業所より：マスクの使用については、耳の聞こえにくい利用者とは接近することになる。また、利用者によってはかなり神経質な方もいるため、「なしでも良い」と言いにくい。但し、入浴中は職員もかなり暑くなるため、付けなくても良いとしており、その他時と場合によって職員の判断としている。利用者の方にも基本的には使用だが、外してしまう方にも以前のように厳密にマスク使用とはせず、タイミングを見て声をかける程度にしている。
- ・事業所より：南海トラフ地震臨時情報については、市役所からのメール内容を回覧と職員のグループLINEで共有をした。利用者からの問い合わせもなく、サービス提供自体が変更になるような事例はなかった。

3. 事故内容、対応について

事故報告	0 件 (内重大事故 0 件)
ヒヤリハット	1 件

→事例：ご利用者同士で助け合おうとしたところ、事故につながる恐れがあった。

- ・事業所より：ヒヤリハットの内容を報告した。

4. 次回開催について

- ・次回は令和 7 年 3 月を予定。

【その他議題内容に関連した意見等】

- ・事業所より：今年はかなり暑くて外で何かをするということができなかつた。利用者も 1 人で歩けるような方おらず、介助が必要になる。利用者全員が動くとなると、介助できる体制がとりにくい。行事で外に行けるととても喜んでいただけるので機会は作りたい。受診も難しく訪問診療にされている方が多いので、天気や体制のことを考えると島内、

屋内となってしまった。

- ・市役所より：近くに学校があると子供達とコミュニケーションを取れる事業所もある。とても暑いため、中の行事やイベントを行うところもあった。墓参りを予定しているとのことだが、行事化しているということは利用者にも好評なのだろうと思った。お花見も車の中から見たというところもあったが、島内でお花見できるところがあるのは良い。
- ・利用者より：世話をかけていると思う。
- ・地域の代表より：職員の体制はどうなっているのか？日によっては業務を回せないこともあるのでは？

→事業所より：職員体制は市の基準で決まっているので、職員が少ないという日もその人数は勤務している。職員が多めにいる日も、ヘルパーと兼務になっているとその時間帯は一時的に職員が減ることもある。

- ・地域の代表より：年度内に外に出る計画はあるのか？

→事業所より：いつも 10 月、11 月頃に外出している。毎月月末に職員会議があり、翌月の行事を決めるため、今月末にそういったことが計画されるかもしれない。

- ・地域の代表より：防災に関連して、10 月後半～11 月頃区の訓練を予定している。志摩市の防災訓練と一緒にできればと思う。避難をするとそこへ泊ることになるが、テントを張ることになるので、その訓練としてセンターの前で実施を計画している。また、見るだけでも参加してもらえたと思う。

もし、災害が起こった時、りゅうぐうの出入り口はガラスを使っているので、割れて散乱すると思う。そういうことも考えないといけない。

最終的にはコミュニティになるが、みんなが集まっているところへ避難することになるだろう。区も一昨年、尿取りパットや紙おむつを少し用意した。赤ちゃん用もある。トイレが一番困ると聞いているので、簡易トイレも用意をしている。また、こんなもが必要というものがあれば知らせてほしい。

- ・知見を有するものより：災害はいつ来るかわからないし、いろんなことが起こると思う。少しづつでもこういう風にしていこう等考えておくことが大事。考えること自体もないと言うのではいけない。品物も備えておくことが大事。どうなるかわからないが、決めておくこと、予定しておくことも大事なのでは？特に職員は渡鹿野の状況がわからないので聞かせてもらえると助かる。話を聞くことで気づくこともある。

- ・地域の代表より：避難訓練でお寺に避難したとあったが、伊勢湾台風の時にお寺へ逃げた記憶がある。地域の人達が避難してきていた。お寺は高潮は大丈夫だと思う。

- ・事業所より：避難訓練でも移動がかなり大変になってきている。職員は 2 往復はしないといけないし、利用者も元気に歩いていても途中で休憩や車いすが必要になる方もいる。

- ・利用者家族より：うちの旅館の 3 階はコミュニティとだいたい海拔が同じくらい。海側が通れて安全に移動できるなら、使えると思う。また、利用者の状況を考えると、道が使えるなら車を使って移動することも必要。

- ・市役所より：引き続き暑いので、水分補給をこまめにするなどして健康管理を行ってほしい。